

肝移植

急性肝不全、B型やC型肝炎からの肝硬変、肝細胞癌などの末期肝疾患患者が対象となります。肝移植の診療経験のある医師が常勤医として勤務しており、肝移植の適応評価、肝移植後の患者さんの免疫抑制療法などのフォローアップ、生体肝移植ドナーの術前評価や術後のケアを行うことなどが可能です。